

新居浜工業高等専門学校 数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル） 令和6年度自己点検・評価結果

評価日時：令和7年5月7日

会議場所：新居浜工業高等専門学校

会議名称：点検・評価運営委員会

目的：令和6年度のデータサイエンス教育プログラムの内部評価

評価項目：文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の審査項目の観点による評価

自己点検・評価項目	自己点検・評価結果	自己点検・評価理由
プログラムの履修・修得状況について	極めて良好	本校では所属の学科・学年に開設されている授業科目（同一時間帯に開講される選択科目は受講申告によりいずれかを選択）は、すべて受講しなければならない。そのため、令和6年度における本教育プログラム履修者の科目の履修率は100%となっている。さらには、令和6年度の本教育プログラムに係る科目のほとんどが修得率100%に達している。
学修成果について	良好	本校では、本教育プログラムに係る科目だけでなく全科目の授業アンケートを実施している。本教育プログラムに係る科目の令和6年度授業アンケートの「この授業の学習目標に対する自分の達成度はどのくらいだと思いますか」の項目の平均値は「80%以上」が64%、「60%以上」が33%、「60%未満」が2%であり、「80%以上」及び「60%以上」で97%を占めていることから、履修学生の達成度は高いと評価できる。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度について	極めて良好	本教育プログラムに係る科目の令和6年度授業アンケートの「内容は理解できましたか」項目の平均値は「よく理解できた」が74%、「どちらともいえない」が25%、「理解できなかった」が1%であった。以上のことから、履修学生は内容の理解度が高いと評価できる。
後輩等他の学生への推奨度について	極めて良好	本教育プログラムに係る科目はすべて受講しなければならないように定められており、これによって後輩を含めた全学生に履修及び修得を促すこととしている。

全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況について	極めて良好	本教育プログラムに係る科目はすべて受講しなければならないように定められており、これによって履修率は全学科において100%である。
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価について	—	令和5年3月に初めて本教育プログラム修了者が卒業した。しかし、まだ卒業してから2年以内であったため、進路、活躍状況、企業等に係わる調査は次年度以降の予定である。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	良好	本校では毎年運営諮問会議にて外部評価を受けており、プログラムの実施についても報告し、その意見をプログラムに反映できるようにしている。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	良好	本教育プログラムに係る科目において、先進的な事例を紹介しつつ、いかにAIが私たちの生活を支える仕組みや様々な企業の生産や管理に取り組まれているかを講義している。授業アンケートや理解度調査アンケートなどから、数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を伝えられるよう取り組んでいる。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	良好	本教育プログラムに係る科目は、授業アンケートを通して年度ごとに改善される体制を取っている。また、授業に用いた教材をLMSを用いて配布することで自学自習に役立てられる環境を整備している。